

**インマヌエル中目黒キリスト教会**  
**2009年12月6日**  
**聖日礼拝**

**待降節講壇 2**

**「イエス、罪から救う方」**

**マタイの福音書 1章18-25節**

**竿代 照夫 牧師**



# 聖書朗読

## 新約聖書

マタイの福音書 1章18節-25節

**18** イエス・キリストの誕生は  
次のようであった。  
その母マリヤはヨセフの妻と  
決まっていたが、  
ふたりがまだいっしょに  
ならないうちに、  
聖霊によって  
身重になったことがわかった。

**19** 夫のヨセフは正しい人であって、  
彼女をさらし者には  
したくなかったので、  
内密に去らせようと決めた。

## 20 彼がこのことを

思い巡らしていたとき、

主の使いが夢に現われて言った。

「ダビデの子ヨセフ。

恐れなさいでああなたの妻マリヤを  
迎えなさい。

その胎に宿っているものは  
聖霊によるのです。

**21** マリヤは男の子を産みます。  
その名をイエスとつけなさい。  
この方こそ、  
ご自分の民をその罪から  
救ってくださる方です。」

**22** このすべての出来事は、  
主が預言者を通して言われた事  
が成就するためであった。

**23** 「見よ、処女がみごもっている。  
そして男の子を産む。  
その名はインマヌエルと  
呼ばれる。」  
(訳すと、  
神は私たちとともにおられる、  
という意味である。)

**24** ヨセフは眠りからさめ、  
主の使いに  
命じられたとおりにして、  
その妻を迎え入れ、

**25** そして、  
子どもが生まれるまで  
彼女を知ることがなく、  
その子どもの名を  
イエスとつけた。



# 説教

待降節講壇 2

「イエス、罪から救う方」  
マタイの福音書 1章18節－25節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「マリヤは男の子を産みます。  
その名をイエスとつけなさい。  
この方こそ、  
ご自分の民を  
その罪から救ってくださる方  
です。」

(マタイ1：21)

# はじめに

## 1. 名前は大切

- 命名の重さ
- 聖書の中の名前：名は体を表す

## 2. 主イエスのお名前

- ・ 預言的な名前

「インマヌエル(神、私達と偕に)」  
： イザヤ予言の成就

- ・ 個人名

「イエス(主(ヤハウエ)は救い)」

- ・ 職名

「キリスト(油注がれた者)」  
： 予言されていたメシア

### 3. 「イエス」という名前の意味

- ・「ヨシュア」のギリシヤ語名：  
イエホーシュア（ヨシュア）

「ヤハウエは救う」

→(ギリシヤ語に訛って)

イエースース (*ιησους*)

- ・ 世界への広まり：  
ラテン語でイエズス、  
英語でジーザスまたはイエシュア、  
スワヒリ語でイエス

- ・ 日本語の呼び方：  
イエズス→耶穌（ヤソ）→イエス

## 4. ヨセフによる命名

- ・ ヨセフの人生：

落剥した「ダビデ直系」

- ・ 大きな課題：

マリヤとの婚約→妊娠

→(穏やかな形での)離縁？

・ 天使のみ告げ：  
「ダビデの子ヨセフ！」  
との呼びかけ

→ 聖霊による懐妊

→ 男の子の誕生

→ イエスと命名 → イエスの使命



## 5. イエスが齎す救い

- 「その名はイエス」：  
「ご自分の民をその罪から  
救う方」
- その民を救う：  
イスラエルを始めとして、全人類

・ 罪からの救い：

罪の中での救いではない

→ 罪から(徹底的に)救う

→ そのために「贖い」を

成し遂げる

(ヨハネ1:29、ヘブル5:7)

→ 全人類の救い主となる

(ピリピ2:9-10)

## 6. 「イエスの名」を呼ぶことが 救いを齎す

- ・ 名前の力：  
名前を呼ぶ＝全人格を捉える
- ・ 「イエスの名」による救い：  
イエスの名を呼ぶとき救われる  
(ローマ10:13、ヨハネ1:12)
- ・ イエスの名による業：  
悪霊でも従う  
(ルカ10:17、使徒16:18)

終わりに

1. イエスを救い主として  
受け入れよう
2. イエスの聖名によって  
勝利しよう